

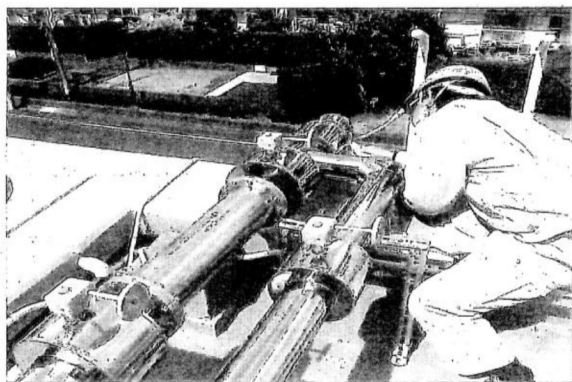
都市拡業

古い建物の給水管の劣化に頭を悩ませる人は多い。「赤い水が出た」「鉄の味がする」「水が漏れている」といった症状が出たからといって配管を交換すると、多くの費用がかかる。都市拡業(こうぎょう、横浜市)は給水管直結の水質改善装置「ザ・バイオウォーター」を使った「酸化被膜工法」を提案する。

基本的な考え方は「さびをもってさびを制する」。人工の鉱物結晶を高温で焼成したセラミックファンを内蔵した装置「ザ・バイオウォーター」に水道水を通すと、水質が変わるという。

神奈川のエンジン

給水管交換せず水質改善



給水管に取り付けて水質を改善する(埼玉県所沢市)

赤さび退治は黒さびで

田尻恵保社長は「雨が地中の鉱物結晶に触れ、石清水明する。となって地表に出てくるの」と説明する。

この装置を使った水を配

止めて管の厚みを回復する効果があるという。鉄瓶や銃身の表面と同じようなも

のだ。酸化被膜工法は1989年以来、約3000件の施す。数字で測れるようになってはじめて工業製品といえるという。

今後は首都圏以外の建物への導入を積極的に働きかける。台湾の工業技術研究院の展示会に出席したり、視察団を受け入れたりするなど海外進出の準備も進めている。電気代などがかわからず、維持費用が抑えられる点を積極的に訴えている。

2014年には水質改善の効果を測定する装置を開発した。田尻社長は「再現性、合理性があり、効果をは言つ。」

管に流すと、内部にたまっていたヘドロのような赤さびがはがれ落ち、代わりに黒さびが付着する。黒さびには水や酸素などから金属を保護し、赤さびの進行を

じ規模のマンションで露出前にさかのぼる。海運業から始まり、戦後になって排水設備の維持管理などを手がけるようになった。変わらなないのは「産業の縁の下

〈会社概要〉

- ▽本社 横浜市南区三春台25
- ▽創業 1909年
- ▽売上高 3億円 (2017年4月期)
- ▽従業員数 20人



横浜支局 045-2201-2551
川崎支局 044-2222-7793